

# 北海道紋別市

北海道紋別市幸町6丁目28-1  
(紋別市保健センター)  
担当課: 保健福祉部健康推進課  
〒094-0005  
TEL 0158-24-3355  
FAX 0158-24-3363

## 本市のデータ

- (1) 面積 830.70km<sup>2</sup>
- (2) 位置 北海道北東部、オホーツク沿岸の中央部
- (3) 人口 24,414人(平成24年11月末現在)  
男性 11,513人、女性 12,901人  
世帯数 12,422世帯
- (4) 産業構造～就業人口

	S60国調(%)	H17国調(%)
1次	2,317(14.7%)	1,183(8.9%)
2次	4,901(31.0%)	3,680(27.8%)
3次	8,565(54.3%)	8,387(63.3%)
合計	15,783	13,250



## 本市の概要

紋別市はオホーツク海沿岸の数少ない天然の良港として、貞享年間(1684年～1687年)に松前藩がその直領としていた宗谷場所から斜里場所へ至るオホーツク海沿岸の寄港地として利用したのが始まりといわれています。昭和29年7月1町2村の合併により、漁業・農業・鉱業を基幹産業とする人口3万6000人の「紋別市」が誕生しました。昭和48年、東洋一の産金量を誇った鴻之舞金山が閉山しましたが、昭和50年には紋別港が重要港湾に指定され、国際貿易港としての整備が進み、近年はロシアサハリン州からの活カニ輸入日本一を誇るなど商港として定着しています。また、我が国唯一の氷海域であるオホーツク海の特性を生かし、冬季はガリンコ号による流氷観光、夏季は花観光や釣クルーズ体験など、四季折々のオホーツクの自然を利用した観光にも力を注いでいます。

<主要特産物> 帆立、毛がに、ズワイガニ、新巻、飯寿司、珍味



## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

紋別市の死因別死亡順位(平成20年)では自殺が第4位を占め、自殺による標準化死亡比(平成12年～21年)は、男性は175.9、女性は75.2で、男性の死亡死因の第1位となっています。自殺者の年齢・性別でみると、40～50歳代の男性が多く、原因・動機は健康問題、経済・生活問題などが多いと考えられます。自殺の原因や動機・背景については、不明なことが多いため、今後の支援について検討していくため、関係機関と連携を図り支援体制の整備をするとともに、相談機関の周知を行い、自殺予防についての市民への啓蒙・普及に努めていきたいと考えています。

### <具体的な取り組み>

平成21年度・平成22年度に、紋別保健所主催で「紋別地域こころの健康を考えるケアチーム検討会議」が数回開催され出席。検討会議メンバーとともに研修会を実施。

#### <平成23年度の取り組み>

##### (1) 自殺予防対策パンフレットの作成

- ① 名称 「みんなで支えるいのちとこころ」
- ② 作成部数 25,000部
- ③ 配布状況 12,876部(広報折込み、関係機関配布、講演会配布等)

##### (2) 自殺予防対策事業「講演会」の開催

- ① 実施日 平成23年12月15日(木)
- ② 場所 紋別市文化会館ホール
- ③ テーマ 「こころの健康と自殺予防」
- ④ 講師 広域紋別病院精神科医長 塚本 壇 氏  
紋別ひまわり基金弁護士事務所 原田 宏一 氏

##### (3) ゲートキーパー研修会

- ① 対象者 民生委員児童委員
- ② 実施日 平成24年2月10日、13日、14日
- ③ 内容 ゲートキーパー研修会
- ④ 講師 紋別保健所保健師



#### <平成24年度の取り組み>

- (1) 自殺予防対策パンフレットの配布
- (2) 図書館に自殺予防のための「こころの元気コーナー」設置
- (3) 自殺予防強化月間・自殺予防週間に、相談機関啓発のための広告を掲載
- (4) 市民向けの自殺予防対策～相談・支援者のための研修会 開催(1月予定)
- (5) 関係機関の連携会議(予定)～保健所主催

